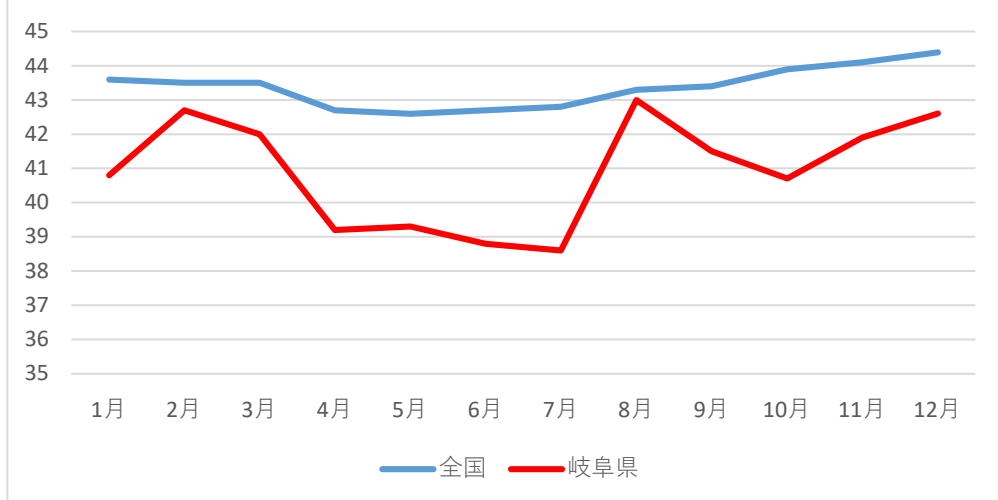


## 『岐阜県の景気動向について』 商工労働部「ぎふ経済レポート」等結果報告

令和7年12月時点での県内の景気動向等が公開されましたのでお知らせします。

令和7年度景気DI（岐阜県）

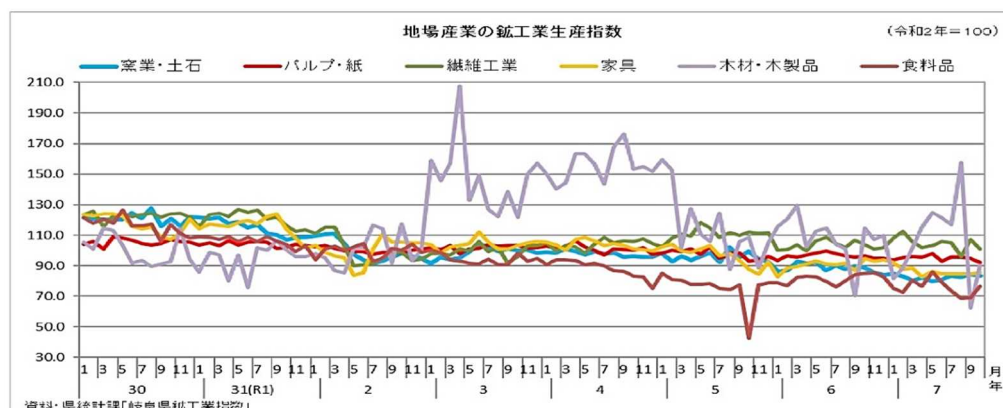


県内企業の景気DIは2ヶ月連続で改善。東海4県では3ヶ月連続最下位だが全国順位は29位に上昇した。業界別ではインバウンドや年末需要によるプラスの声があった一方で、「新築・分譲の新規案件がない」、「生産調整で減産しているユーザーがいる」等厳しい声や設備投資の鈍さを指摘する向きがあった。物価上昇に賃金の伸びが追いついていない。日銀の利上げ決定に加え海外情勢の不安定化から地政学的リスクが高まる可能性もあり景況感が持続的に上向く材料は乏しい。

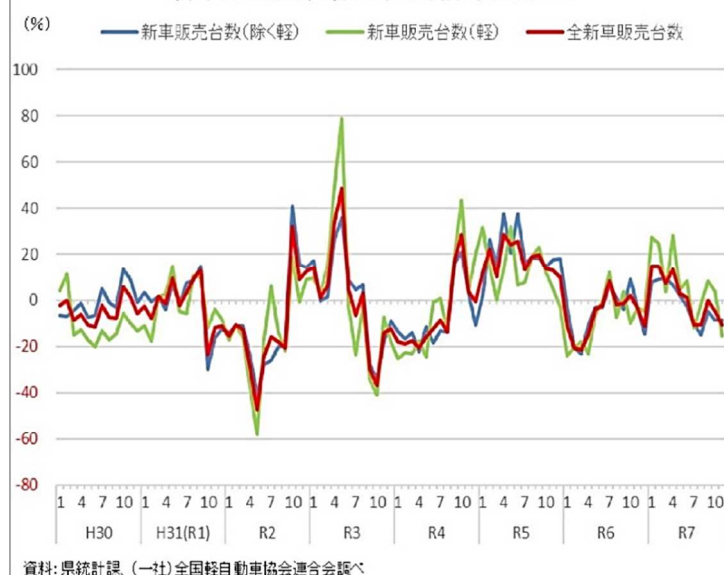
## 〈製造業〉

航空機部品の売上が回復してきた。主要取引先からの急ぎの受注が増えている（輸送用機械器具）。大手自動車メーカーが生産台数を下方修正し、ここ数ヶ月の堅調具合からすると若干弱くなった印象。

新商品が好調で増収増益（木工）。



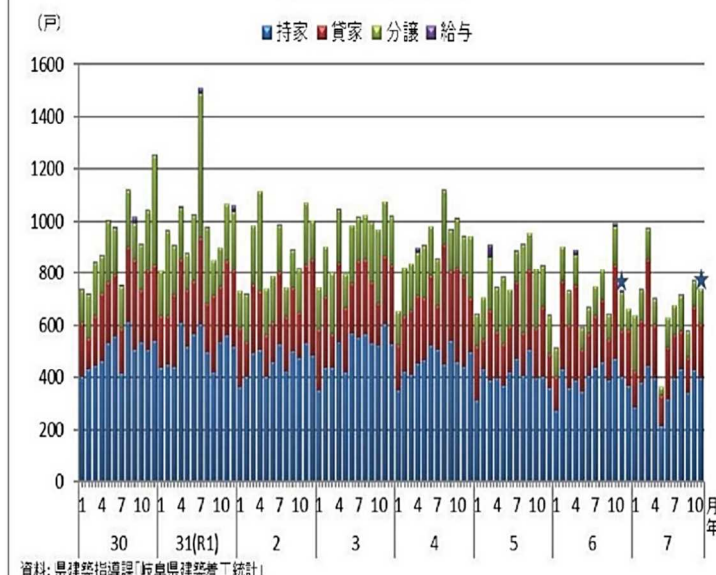
新車販売台数増減率(対前年同月比)



## 〈自動車産業〉

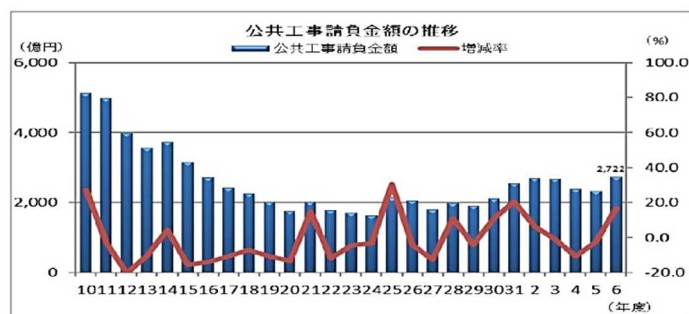
- 11月の新車販売台数（除く軽）は、前年同月比▲8.5%と6ヶ月連続で前年同月を下回った。

新設住宅着工戸数の推移



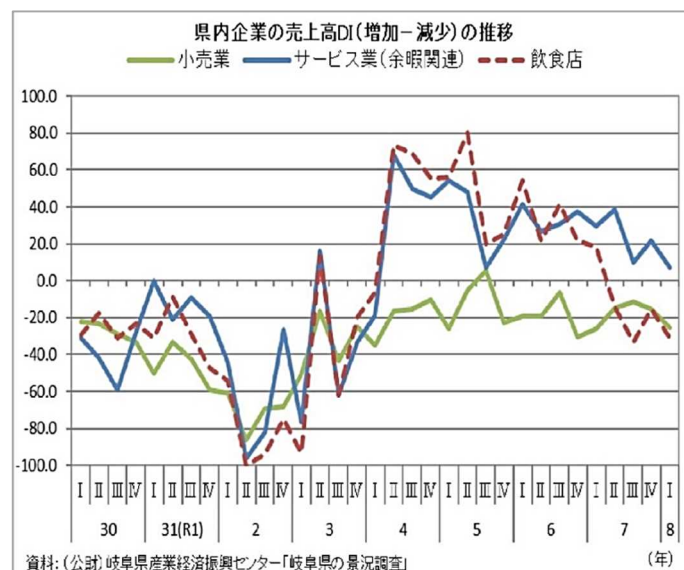
## 〈建築業〉

- 2月の新築の契約数は例年と変わらないが、長期的になだらかに落ちてきていると感じる（住宅）。



〈建設業〉

物価上昇が止まらないことに加え、公共工事の減少または遅延が影響し、売上は前年比の81%程度に減少。

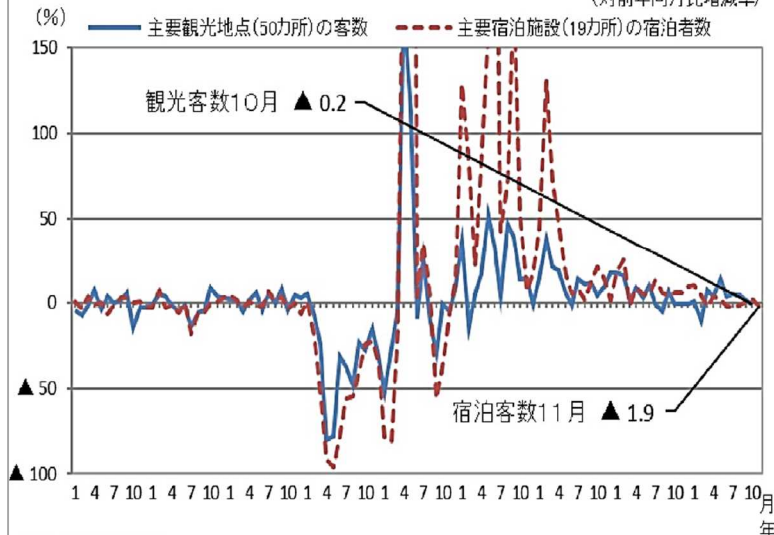


勢いを欠く。2025年度の民間住宅は-1.0%増・寄与度0.0%と大幅な落ち込みを見込んでいる。

民間企業設備は2.1%増・寄与度0.3%と、前年度（1.0%増・寄与度0.2）から増勢を強めるものの、県内総生産を

### 主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

(対前年同月比増減率)



資料: 観光国際政策課

〈宿泊業〉

・宿泊施設では人材不足が深刻化しており、人材確保が困難。

### 【総合コメント】

2025年度の岐阜県経済は、実質成長率が前年度比0.4%と、小幅なプラスにとどまる。景気は「横ばい圏のわずかな拡大」という性格が強い。消費支出は0.1%増、サービス消費などへの需要は一定程度保たれているものの、生活必需品価格の上昇が裁量的支出の拡大を抑え、消費全体としては

大きく押し上げるほどではない。

外需等は-0.1%とマイナスであり、経済成長を押し下げる要因となっている。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。

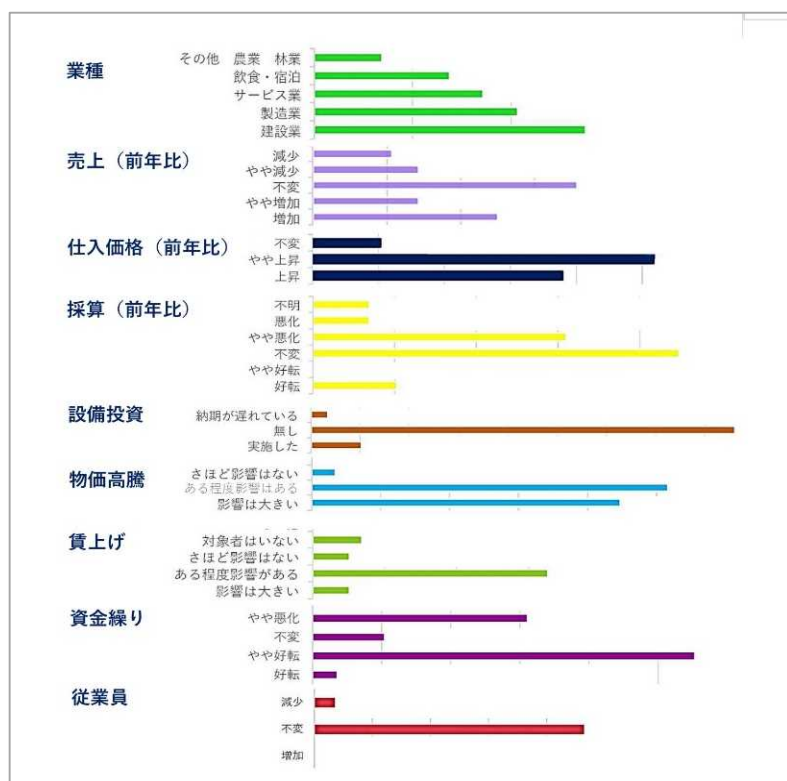
ただし今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

### 【東白川村商工会における景気動向調査】

村内の事業所を対象としたR7年度の景気動向調査を、R7年12月に実施しました。

仕入れ価格高騰の影響は大きく、賃上げの影響もみられるものの、全体的に売上や利益は昨年と変わらない事業所が多いようです。

設備投資の実施は少なめとみられます。



《東白川村におけるR7年度の景気動向調査結果》